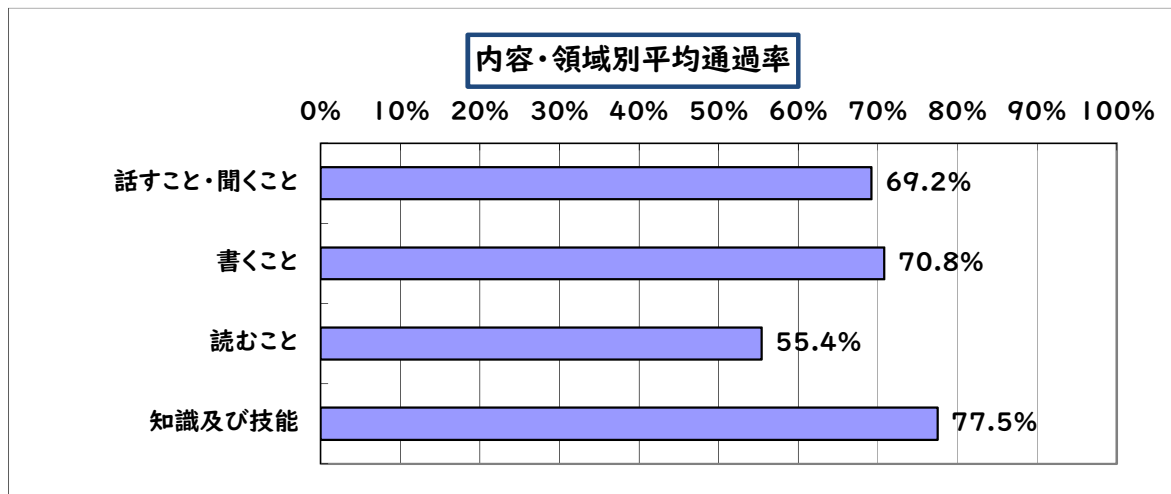
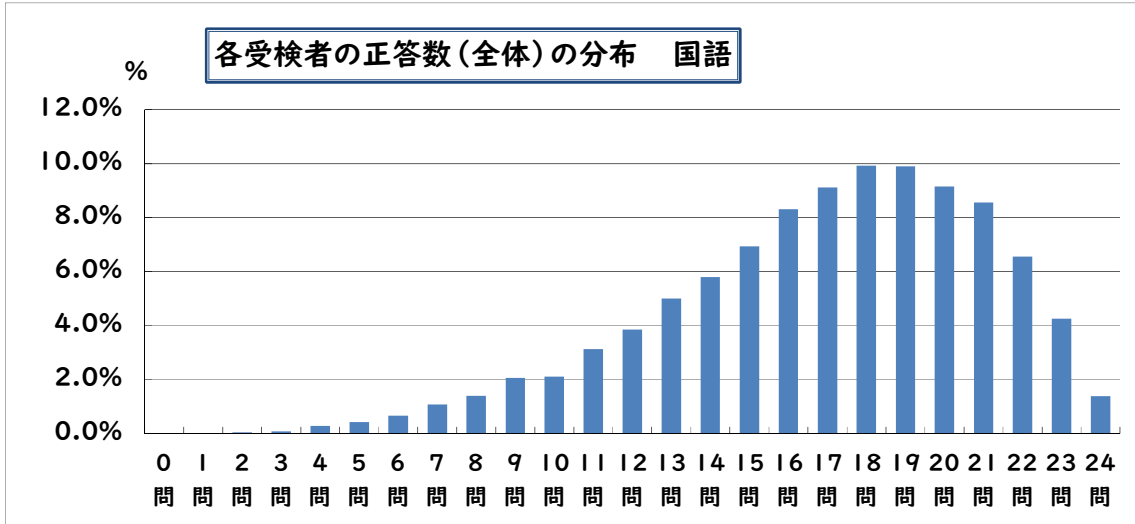


(1) 中1平均通過率と受検者の正答数分布

学年別平均通過率		小5	中1	中2
	知識・技能	76.1%	77.5%	63.7%
	思考・判断・表現	65.1%	64.4%	75.9%
	全体	70.9%	70.4%	71.0%



- 「知識・技能」においては通過率77.5%と8割には届かなかったものの、「思考・判断・表現」については、64.4%と6割を超えており、授業改善が進みつつあることが分かります。
- 領域別に見ると、「読むこと」に課題が見られます。「読むこと」では、「文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるか。」を問う設問の通過率が58.3%となっていました。設問の内容としては問題提起文の場所を問う問題であり、文章全体の構成を意識させる指導が必要です。
- 「読むこと」以外では、「話すこと・聞くこと」にやや課題があり、大問4の三の「互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができるか。」を問う設問では通過率37.7%でした。設問の内容としては、司会がそれぞれの立場を明確にするために、意見を短く整理し、確認する発言を記述させる問題でした。話し合いの途中で意見を整理する発言の重要性を指導する必要があります。

(2) 各設問の分類と平均通過率
国語(中学校第1学年)

	設問			出題学年	学習指導要領の領域				評価の観点		県平均		校内平均		出題の意図			
	大問	中間	小問		知識・技能	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	通過率	無解答率	通過率	無解答率				
1	1	一	1	小6 小4	○				○		96.6%	0.8%			学年別漢字配当表に示されている漢字を文や文章の中で正しく読んだり、書いたりすることができるか。(中1知識及び技能(1イ))			
2			2	小6	○				○		99.4%	0.0%						
3			3	小5	○				○		68.2%	15.6%						
4		二	中1	○					○		83.2%	0.2%			文意や熟語の意味から正しい漢字を判断することができるか。(中1知識及び技能(1イ))			
5		三	小3 小4	○					○		43.5%	14.2%			漢字の部首名を正しく答えることができるか。			
6		四	中1	○					○		61.8%	0.1%			単語を理解し、適切に区切ることができるか。			
7		五	小3 小4	○					○		80.3%	0.1%			例文から故事成語の意味を考え、正しい意味を判断することができるか。			
8		六	中1	○					○		53.2%	0.2%			語句の辞書的な意味と文脈上の意味の関係を考えて、正しい意味を判断することができるか。			
9		七	1	中1	○					○		81.9%	2.6%			歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すことができるか。		
10			2	中1	○					○		98.0%	0.1%			古語の正しい意味を理解できるか。		
11			3	中1	○					○		86.7%	1.3%			古文の内容と古語の意味を正しく理解できるか。		
12	2	一	中1					○	○	58.3%	0.4%			文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるか。				
13		二	中1					○	○	60.8%	3.4%			事実と意見との関係などについて、叙述を基に捉えることができるか。				
14		三	中1					○	○	51.4%	0.5%			文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるか。				
15		四	中1					○	○	44.5%	0.5%			事実と意見との関係などについて、叙述を基に捉えることができるか。				
16		五	小3 小4					○	○	61.8%	0.5%			文章と図表を結び付けて内容を理解することができるか。				
17	3	一	中1				○	○	57.6%	7.4%				集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるか。				
18		二	中1				○	○	87.3%	6.0%				読み手の立場に立って表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるか。				
19		①	中1				○	○	80.5%	9.7%				根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるか。				
20		②	中1				○	○	57.9%	11.0%								
21	4	一	中1	○				○	○	84.4%	1.8%				話題の展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめることができるか。			
22		二	小5 小6	○				○	○	88.6%	2.2%				資料を活用して、自分の考えが伝わるように表現を工夫できるか。			
23		三	小5 小6	○				○	○	37.7%	9.4%				互いの立場や意図を明確にしなが、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができるか。			
24		四	中1	○				○	○	66.1%	17.6%				話し合いの話題や展開を捉え、互いの発言を結びつけて考えをまとめることができるか。			
計				問題数	11	4	4	5	11	13	70.4%		4.4%		0.0%		0.0%	
				出題割合	45.8%	16.7%	16.7%	20.8%	45.8%	54.2%								

(3) 国語 <中学校第1学年>

ア 特徴ある問題から 大問4三

(小学校学習指導要領解説(国語編)[高学年]A「話すこと・聞くこと」オ P136と関連)

学習指導要領解説には「互いの立場を明確にするとは、話題に対してどのような考えを持っているのかを互いに明らかにすることである。」とあります。そこで本問題では、単にそれぞれがどのような考えをもっているかをまとめさせる問題ではなく、話し合いの様子から、司会の役割として話し合いの参加者がそれぞれどのような考えをもっていたかを整理する発言としてまとめさせる問題を出題しました。

話し合いの様子を切り取って、その会話の中の発言を作る問題は、全国学力・学習状況調査でもよく出題される内容です。私たちはこの問題の予想通過率を50%と設定して出題しました。

鹿児島学習定着度調査 中1国語 大問4の3

【話し合いの一部】における「ア」では、どのようなことを話せばよいか。田中さんの立場の発言として実際に話す言葉を書きなさい。

田中さんは司会の立場であることが、話し合いの最初の部分で分かります。

【質問の部分の田中さんの会話】

それぞれの意見が出ました。整理すると、

 では、それぞれ質問や意見があったらどうぞ。

問題の内容は左のようになります。司会である田中さんが、話し合いの途中で、みんなの意見を整理する発言として、どのように発言したらよいかを記述式で答える問題です。

本問題における平均通過率は37.7%、無答率9.4%でした。原因としては、司会の役割として、どのような発言をすることが「互いの立場を明確にする」発言なのかを取り立てて指導していないところにあると考えます。

そこで、ICT機器の利点を最大限生かして、次のような授業改善が考えられます。

イ 授業改善のポイント

互いの立場や意図を明確にするために

「グループディスカッション」『三省堂』P30

① 話し合いの話題を決め、目的を明確にする
 (共通の話題で、小グループで話し合いを行う。)
 (話し合いの様子をタブレットに録画する。)

T (あるグループの話し合いの様子を全体で見て)
 目的などを確認する発言があるかどうかを確認してみましょう。

T 自分たちのグループの発言で、互いの立場や意図を明確にさせる発言があるか、確認してみましょう。

司会の役割として、それぞれの立場を明確にする発言があるかを確認する。

互いの立場や意図を明確にするために

「グループディスカッション」『三省堂』P30

② 目的の異なる話し合いを複数提示し、グループで選択・判断して取り組ませる。※ タブレットで話し合いの様子を振り、目的を確認する発言を探す。

③ 目的の異なる話し合いを複数提示して、個人で選択・判断して取り組む。※ タブレットで話し合いの様子を振り、目的を確認する発言を探す。

C 司会が会の始まりに目的などを確認することが大事だ。また、話し合いの途中で、意見を整理する発言が大切だ。

いろいろな場面で、司会が発言を確認しながら話し合うことが必要だという意識をもたせる。

① 試みの話し合いなどを行わせ、立場を明確にさせる発言があったかどうかを、タブレットの録画を振り返り検証します。その際、司会者がそれぞれの意見を整理し、立場を明確にさせる発言があることに気付かせます。

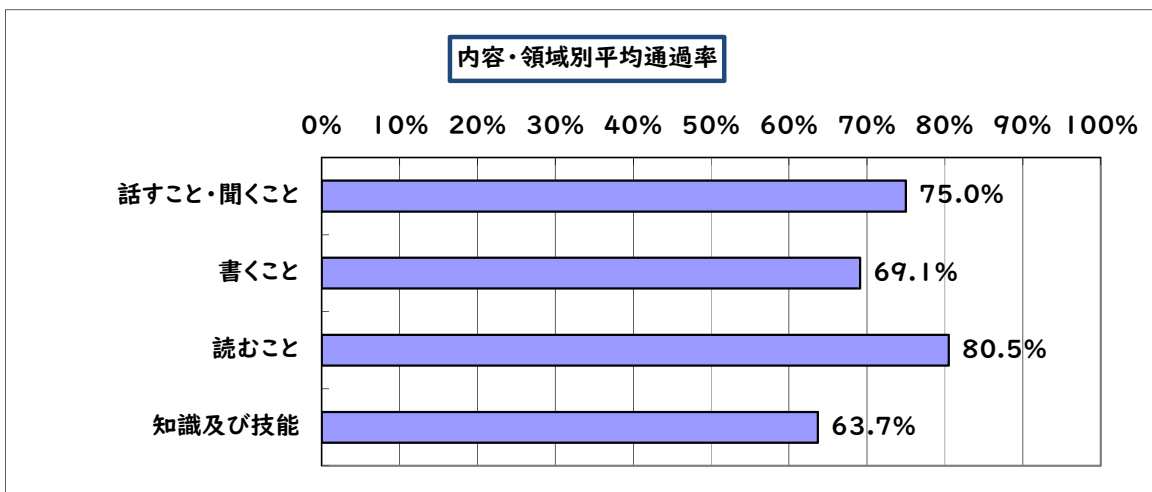
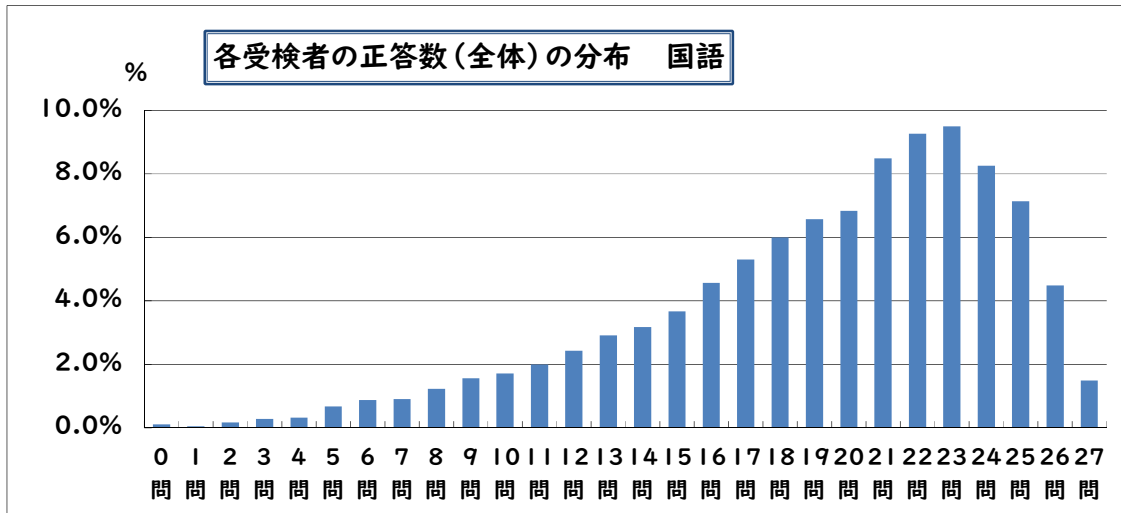
②③ 話し合いの場を複数回設定し、その中で、司会の立場を明確にさせるような発言があったかどうかを振り返ります。

二次元コードを読み取り、「県総合教育センター『学びの地図』に掲載中の鹿児島学習定着度調査解説動画」を見てみよう!



(1) 中2平均通過率と受検者の正答数分布

学年別平均通過率		小5	中1	中2
	知識・技能	76.1%	77.5%	63.7%
	思考・判断・表現	65.1%	64.4%	75.9%
	全体	70.9%	70.4%	71.0%



- 他の学年と異なり、「知識・技能」に係る設問の通過率が63.7%と低く、課題があります。その一方「思考・判断・表現」は75.9%と7割を超えており、授業改善が進みつつあるといえます。
- 「知識及び技能」では、形容詞の活用形を問う設問の正答率が低い状況です。例年通過率が低い内容ですが、今年度は、出題の形式を、なぜその活用形になるのか、考え方のプロセスを文章化した問いに変更しました。これらの考え方のプロセスをしっかりと指導していく必要があります。
- 領域別に見ると「書くこと」にやや課題があります。特に大問3の一は、「読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができるか」を問う設問で、文末を書き換えた意図を選択肢で問う設問ですが、書かれている表現が、自分の考えを明確に伝える文になっているかを、読み手の立場から検討することが大事であることを指導する必要があります。

(2) 各設問の分類と平均通過率
国語(中学校第2学年)

	設問			出題学年	学習指導要領の領域				評価の観点		県平均		校内平均		出題の意図
	大問	中間	小問		知識・技能	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	通過率	無解答率	通過率	無解答率	
1	1	一	1	小4	○				○		62.3%	4.8%			学年別漢字配当表に示されている漢字を文や文章の中で正しく読んだり、書いたりすることができるか。
2			2	中1 小4	○				○		13.3%	5.8%			
3			3	小6	○				○		62.3%	14.3%			
4			4	小6 小5	○				○		60.3%	8.1%			
5		二		中2	○				○		63.6%	0.2%			動詞の活用形を理解しているか。
6		三		中2	○				○		79.9%	0.1%			尊敬語を正しく理解しているか。
7		四		中1	○				○		46.6%	0.2%			行書の特徴を理解しているか。
8		五	1	中1	○				○		92.9%	1.1%			歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すことができるか。
9			2	中2	○				○		77.4%	0.2%			古文の動作の主を理解しているか。
10			3	中2	○				○		85.6%	0.2%			古文を読んで、文章を捉えることができるか。
11	2	一	小5 小6	○				○		56.2%	0.3%			係り受けを正しく理解しているか。	
12		二	中1					○		89.3%	0.2%			事実と意見との関係などについて、叙述を基に捉えることができるか。	
13		三	あ	中2				○		○	91.2%	0.4%			文章と図を結び付けて、内容を解釈することができるか。
14			い	中2				○		○	91.2%	0.4%			
15		四		中1				○		○	81.9%	0.5%			事実と意見との関係などについて、叙述を基に捉えることができるか。
16		五	ア	中2				○		○	59.5%	5.1%			目的に応じて複数の情報を整理しながら、適切な情報を得ることができるか。
17			イ	中2				○		○	70.3%	7.4%			
18		六		中2				○		○	80.1%	5.3%			目的に応じて複数の情報を整理しながら、適切な情報を得ることができるか。
19	3	一	中2				○		○	72.9%	0.5%			読み手の立場に立って、文章の内容を整えることができるか。	
20		二	中2				○		○	60.4%	0.6%			具体例を加えたりして、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるか。	
21		三	①	中1				○		○	75.4%	9.5%			根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。
22			②	中1				○		○	67.7%	11.6%			
23	4	一	中1				○		○	79.9%	1.0%			話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめることができるか。	
24		二	中2				○		○	58.9%	1.2%			目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができるか。	
25		三	小5 小6				○		○		73.0%	1.4%			話の内容が明確になるように、事実と感想、意見を区別するなど、話の構成を工夫することができるか。
26		四	①	中2				○		○	90.7%	7.5%			論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるか。
27			②	中2				○		○	72.6%	8.3%			
計				問題数	11	5	4	6	11	16					
				出題割合	42.3%	19.2%	15.4%	23.1%	42.3%	61.5%					
										71.0%	3.6%	#DIV/0!	#DIV/0!		

(3) 国語 <中学校第2学年>

ア 特徴ある問題から 大問4ニ

(中学校学習指導要領解説(国語編)[第2学年]A「話すこと・聞くこと」ア P87と関連)

学習指導要領解説には「異なる立場や考えの聞き手に自分の考えを伝えるためには、根拠となる情報を幅広く収集することが重要である。」とあります。そこで本問題では、単にグラフだけを示して考えさせるのではなく、写真等も提示して選択する問題を出題しました。複数の情報を関係付けて答える問題は、例年通過率が低く、特に図やグラフ、写真等、非連続型テキストの情報を関係付けて答える問題は苦手としています。

【プレゼンテーション進行表】		
部	スライド	伝えること
第一部	学校のごみに関する現状 【 ② 】	<p>「学校のごみに関する現状」</p> <p>※ アンケート結果とともに、自分たちの学校のごみに関する現状についての課題を伝える。</p> <p>※ アンケート結果とともに、紙ごみが多いにもかかわらず、紙類がリサイクルされていない現状について示す。</p>

<p>ごみの種類と割合のグラフ</p>	<p>学校全体で一週間に出るごみの写真</p>
<p>1日に学校から出るごみの量(kg)</p>	<p>学校で日に出るごみの写真</p>

具体的には、プレゼンテーション進行表にある②の部分にどのような資料を示したら良いかを考えて選択する問題でした。本問題の平均通過率は58.9%、無答率1.2%でした。原因としては、写真やグラフ等、非連続型テキストを情報源として検討する授業が十分になされていない可能性が考えられます。そこで授業改善として、次のような工夫が考えられます。

イ 授業改善のポイント

学習者主体で、情報をそれぞれ集めさせる活動と、その集めた情報を持ち寄り、その情報からどんなことが意見として言えそうかを検討させる場面を設定することが大切です。

鹿児島学習定着度調査 中2国語 大問4のニ「話すこと・聞くこと」

「グループディスカッション」『三省堂』P34

- ① 討論のテーマを決め、情報を集める。
※ グループで情報を複数集めることが大事
- ② 立場を決めて、考えをまとめる。
※ 複数の情報から、根拠を明確にして話し合いを行う。
- ③ グループで討論する。
※ 討論の様子をタブレットで録画し、振り返りで活用する。
- ④ 討論を振り返る。
※ 立場は異なるのに、根拠が同じ人はいませんでしたか。
※ 根拠が異なるのに、立場が同じ人はいませんでしたか。

① 学習者主体の授業改善を進めるためには、討論のテーマを決める際には、いくつかのテーマを提示し、生徒が討論したい内容を決めて、そのテーマに応じた情報を集めます。

② 討論のテーマを決めて、情報を収集させる際に、学校図書館やICTを積極的に活用し、文章でまとめた図書資料以外にも、図や表、写真等、非連続型テキストも資料として使わせ、考えさせたり、発表させたりします。



二次元コードを読み取り、「県総合教育センター『学びの地図』」に掲載中の鹿児島学習定着度調査解説動画」を見てみよう!

